

校訓 温情・活力・知性

【学校教育目標】自ら学び続け、成長する二見っ子の育成



克己



二見いしばしか



HPここから

八代市立二見中学校
学校便り第5号
令和8年7月17日
文責 青濱 伊津子

●一人一人の個性が光った1学期でした。よさを伸ばして2学期につなげましょう！●

7月17日(金)は、1学期終業式でした。1学期の様々な学校行事や日常生活を振り返ってみると、二見中生徒のよさをたくさん見つけました(自分たちにとって当たり前過ぎて気づいていないかもしれません)。よいところがたくさんありますが、3つだけ紹介します!

◎**礼儀正しさ**:朝夕の校門一礼は素晴らしいです。全ての生徒が「克己門」の下で一礼をします。

◎**真面目さ**:自分に任せられた仕事(委員会、係活動)や無言掃除に一生懸命取り組みます。

◎**学校愛**:二見中学校が好きという生徒が多く、学校生活を笑顔で楽しんでいる姿が見られます。そんな生徒の皆さんに、これから夏休みを迎えるにあたり、実行してほしいことが2つあります。

1つめは、「**時間**」を意識することです。世界中のどんな人にも平等に与えられているものが「時間」です。過ぎた「時間」は戻ってきません。夏休みに何をするか、どう過ごすかを考えて行動しましょう。2つめは「**デジタルデトックス**」です。メディア依存が強いと、キレやすい、勉強から逃げる等の症状が現れることがあります。心身の疲労やストレス軽減のため、ぜひ読書、運動、お手伝い等にチャレンジして、地域の方との交流もしましょう。また、夏休みの体力向上の取組にも参加しましょう(スポーツ振興センター保険が適用されます)。2学期に、皆さんと笑顔で会えることを楽しみにしています。

※保護者の皆様へ:夏休みに子どもさんのことでご相談等がありましたら、いつでもご連絡ください。

●心のきずなを深める集会 ～差別のない世界へ～●

7月6日(月)に、「心のきずなを深める集会」を実施しました。内容は1学期の人権部落問題学習で学んだことの発表や意見交換でした。1年生は集団宿泊教室での講話やフィールドワークの体験をもとにした「水俣での学び」、2年生は道徳や総合的な学習の時間をおして働く意味や意義を考えた「職業観」、3年生は個性を大切に自分らしく生きることの大切さ「性的マイノリティー」の発表でした。

生徒全員が発表したあと、「差別のない世界へ」(人種差別)の動画を見ました。最後に私から「世界にたった一つしかない命」の尊さ、自分の命、周囲の人の命を大切に生きてほしいというメッセージを伝えました。

生徒の感想からは、「自分たちが差別に気づくことが大事だ」、「見える傷は治るけど、心に受けた傷は治らないから言葉や態度に気をつけたい」などの意見が聞かれました。生徒自身が人権部落問題学習を自分事として考え、学びあい、思いを共有できた集会でした。



1年生の発表「水俣での学び」

●SET (Special English Time) ●

7月10日(金)は、週に1回来校されているガンナー先生に加えて、八代市内のALTの先生(アメリカ合衆国出身)2名が来校される「SET」の日でした。生徒たちは、授業や休み時間に積極的にALTの先生方のところへ行って、話しかける姿が見られました。

また、ALTの先生方もわかりやすい英語で生徒との会話を盛り上げていただいたので、「英語が話せるのが楽しい!」「もっと英語を話せるようになりたい!」と思った生徒が増えました。生きた英会話が飛び交い、笑顔いっぱいの1日でした。



リース先生、ショーン先生と会話を
楽しむ3年生

●知識は裏切らない～上級学校説明会～●

7月2日(木)、3日(金)の2日間、全校生徒・保護者を対象に、上級学校説明会を開催しました。上級学校の生徒募集の形は、毎年変わるため、毎年情報のアップデートが必要です。3年生のみならず1年生の保護者の方も、参加されており、関心の高さを感じました。

進路選択により、自分の未来が変わってきます。「その学校で何がしたいのか」をしっかりと考えて決めましょう。進路の選択肢を増やすためには、勉強(授業や宿題)を頑張ることが大切です。勉強して身につけた知識は、裏切りません。自分の力になります。



上級学校説明会の様子